【活動報告】

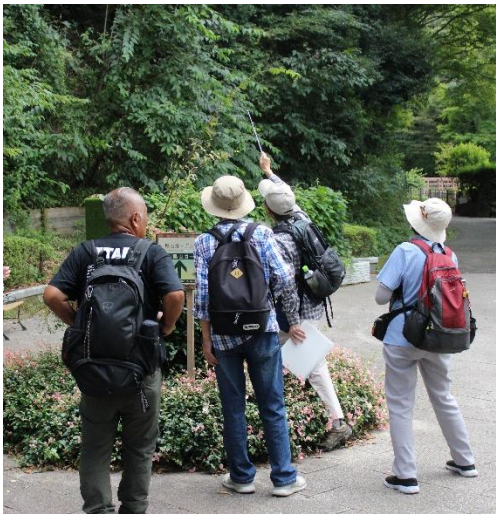
**四季の森公園「自然を訪ねて～クモってすごい」**

日　時：9 月 21 日（日）13：00～15：00　晴れ

場　所：県立四季の森公園　会議室、北口広場～はす池周辺

参加者：一般 6 名（うち子供 1 名）、公園職員 1 名、スタッフ 4 名

参加者が少なくこじんまりした観察会でしたが、いろいろなクモの様子を見ることができました。



ジョロウグモの網を観察しています。ほぼ垂直に張られた馬蹄形で、クモは上の方にいます。他のクモと違い細い足場糸を残して横糸を張るため、一見五線譜の様に見えます。他にも、餌を捕る主な網の前後に不規則網があるなど、他のクモにない特徴があります。

成熟したジョロウグモの雌と、奥に見える小さな雄。

四つ目垣の間に張られたたゴミグモの垂直円網やヒメグモ科の不規則網を観察しています。ゴミグモはゴミに紛れ、ここのヒメグモ科はとても小さかったので見つけにくいです。ゴミグモは少し離れた池沿いの四つ目垣にもいました（↑）。

岩の下側にあったジグモの巣（縦の袋状の 2 本）。

水路沿いでは、水平円網を張るアシナガグモ（↖）やオオシロカネグモ、垂直円網を張るナガコガネグモ（↑）が見られました。

ユウガギクの群落で、蜜を吸いに来る昆虫を待ち伏せるクモを探しました。お目当てはハナグモ、アズチグモ、コハナグモなどで、これらは虫を捕らえるための網は張りません。コハナグモ(↑)が2匹見つかったほか、夜間に小さな垂直円網を張るワキグロサツマノミダマシというクモも見つかりました。

白い壁のトイレ内外にもいろいろなクモがいました。天幕住居の周囲に受信糸網を張るヒラタグモが内外の壁に多くいたほか、ジョロウグモがあちこちで網を張っており、外壁にはアシナガグモも1匹いました。他に･･･。

外壁には不規則網を張るオオヒメグモが、雫形の卵のうとともにたくさん見られました。

ジョロウグモの網に居候していたシロカネイソウロウグモ。1ミリほどの腹部が白銀色。

トイレ内では、アシダカグモが壁の上の方にいてこちらを睨んでいました。

指示棒で指している先に小さな松葉のようなオナガグモがいます。直線状の網とはいえないような糸にいて、クモを餌にしようと待ってます。ちょっと触ったら動いて、やっと皆が確認できました。

カツラの木の下のハツユキカズラの中に、シート状の網を張るコクサグモがいました。

四つ目垣の間に不規則網があり、15ミリほどの小さな枯葉が浮いています。枯葉の真ん中の薄いピンク色は破れた卵のう。その周りや葉の下にある小さな粒つぶは子グモで、ヒメグモ科の団居のようです。側にいた母グモは逃げちゃいました。解散してから見つけてスタッフだけ見たのは秘密？